

浜松市ビーチバレー 連盟ロゴマーク披露

大学生の木山さん考案

浜松市ビーチバレーボール連盟は新しいロゴマークを決定し、14日に市役所で発表した。考案した静岡文化芸術大学デザイン学部3年木山悠歌さんと同連盟の桐原勇人理事、池

谷英文理事が鈴木康友市長にお披露目した。市の鳥ウグイスとバレーボールをモチーフに、3種類の青で海原を、黄色の曲線で羽根と海面の輝きを表現した。木山さんは「浜松から世界へ舞い上がるような願いを込めた」と説明した。

連盟の依頼で同大の学生8人が10数点の原案を寄せ、役員らが選考した。名刺や配布物に印刷し、競技のPRに活用する。連盟は市が南区に整備予定の大規模ビーチコートを生かした国際大会の誘致やクラブチームの創設を目標として、桐原理事は「このロゴを足掛かりに競技人口増加や経済活性化に寄与する取り組みを進めたい」と話した。



ロゴマークを発表する木山さん(中央)

＝浜松市役所